

# 福岡県における 再生可能エネルギー普及促進 に向けた取組み

平成26年5月26日



福岡県企画・地域振興部総合政策課  
エネルギー政策室



福岡県マスコットキャラクター エコトン

## 本日のご説明内容

### 1. 福岡県における再生可能エネルギーの導入状況

### 2. 再生可能エネルギーの導入促進に向けた県の取組み

- ① 再生可能エネルギーの率先導入
- ② 再生可能エネルギー導入支援システムによる情報発信
- ③ 地域の特性を活かしたモデル事例の構築支援
- ④ 農業と連携した再生可能エネルギーの導入促進
- ⑤ エネルギー対策特別融資制度による省エネ・再エネ設備の導入支援
- ⑥ 再生可能エネルギー産業の支援・育成

# 1. 福岡県における 再生可能エネルギーの導入状況

## 1-1. 福岡県における再生可能エネルギー発電設備の累積導入量

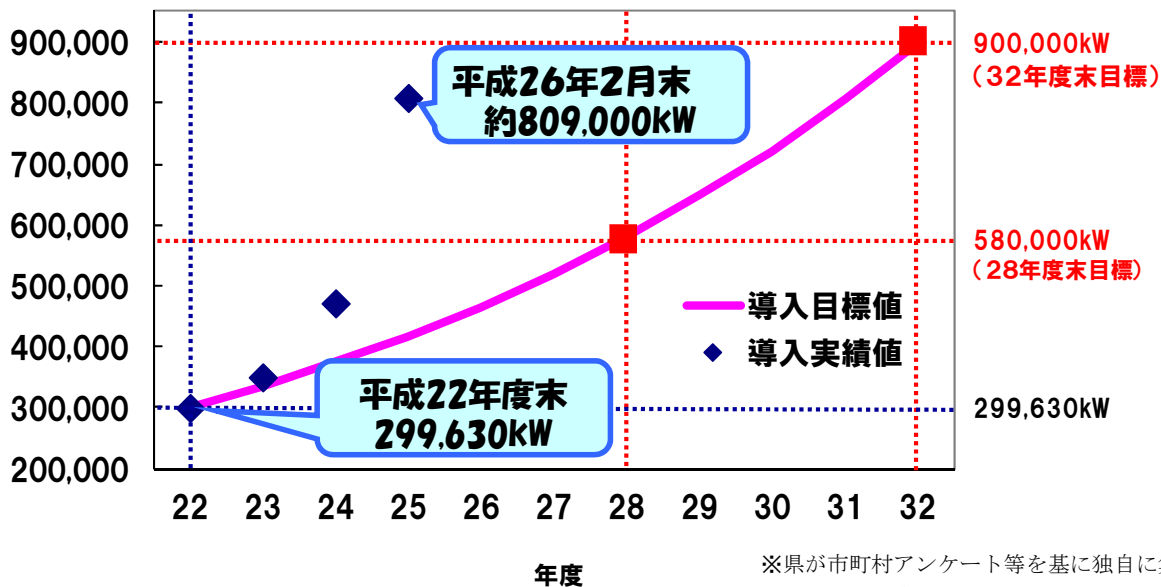
再生可能エネルギー発電の種類		平成23年度末の 累積導入量 (kW)	平成24年度末の 累積導入量 (kW)	平成26年2月末の 累積導入量 (kW)
太陽光発電	(住宅用)	189,483.5	248,415.0	約305,000
	(非住宅用)	17,514.4	80,055.4	約358,000
風力発電		17,313.4	17,313.4	約 20,000
水力発電		20,985.0	20,988.0	約 21,000
地熱発電		0.0	0.0	0
バイオマス発電 (ごみ発電を含む) <small>※設備容量にバイオマス比率を乗じて算出</small>		104,755.0	104,755.0	約105,000
合計		350,051.2	471,526.8	約809,000

※県における推計値（市町村アンケート等を基に独自に推計）  
※端数処理の関係で合計値が合わない場合があります

平成24年度に12万kW、  
平成25年度に33万kW以上が増加。  
(ただし、その増加は太陽光発電が中心)

## 1-2. 福岡県の再生可能エネルギー導入実績・導入目標

	基点	目標値	
再生可能エネルギー導入容量(設備容量)	299,630kW (H22年度末)	580,000kW (H28年度末)	900,000kW (H32年度)



## 1-3. 再生可能エネルギー固定価格買取制度

《再生可能エネルギー固定価格制度に基づく認定状況(平成26年2月末現在)》

- 認定設備容量 **全国第11位** (1,520,399kW)
- 認定設備容量のうち稼働済み分 **全国第1位** (444,037kW)

### 認定設備容量

順位	都道府県名	認定設備容量(kW)
1位	北海道	2,688,204 kW
2位	茨城県	2,558,627 kW
3位	鹿児島県	2,430,812 kW
4位	福島県	2,119,109 kW
5位	千葉県	1,807,928 kW
11位	福岡県	1,520,399 kW

### 認定設備容量(稼働済み分)

順位	都道府県名	稼働設備容量(kW)
1位	福岡県	444,037 kW
2位	愛知県	418,163 kW
3位	兵庫県	375,881 kW
4位	茨城県	374,199 kW
5位	静岡県	319,546 kW

## 1-4. 住宅用太陽光発電の導入状況

### 《住宅用太陽光発電の累積導入量（平成6年度～平成25年度）》

- 導入件数 **全国第3位**（74,187件） ※前年度から13,028件増加
- 導入設備容量 **全国第3位**（309,125kW） ※前年度から60,710kW増加

#### 導入件数(平成6年度～平成25年度)

順位	都道府県名	導入件数(件)
1	愛知県	107,961
2	埼玉県	82,716
3	福岡県	74,187
4	東京都	71,635
5	静岡県	69,387

#### 導入設備容量(平成6年度～平成25年度)

順位	都道府県名	導入設備容量(kW)
1	愛知県	448,841
2	埼玉県	320,614
3	福岡県	309,125
4	静岡県	293,785
5	東京都	265,349

※県が一般社団法人太陽光発電協会データ等を基に集計

## 1-5. メガソーラーの動向

### 固定買取価格制度の認定状況（平成26年2月末現在，経済産業省発表）

メガソーラー認定件数 281カ所(全国第5位)      メガソーラー認定出力 707,484kW(全国第10位)  
 うち稼働済み件数 79ヶ所(全国第1位)      うち稼働済み出力 142,440kW(全国第1位)

#### メガソーラー(稼働済み)マップ

※平成26年5月15日現在 県把握分(53ヶ所)のみをマッピング

**22,898kW**

**みやま合同発電所**  
(芝浦グループ)  
稼働：2013年3月



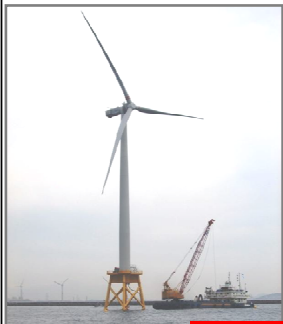
**1,000kW**

**大分自動車道  
山田SA(下り線)**  
(西日本高速道路(株))  
稼働：2012年11月



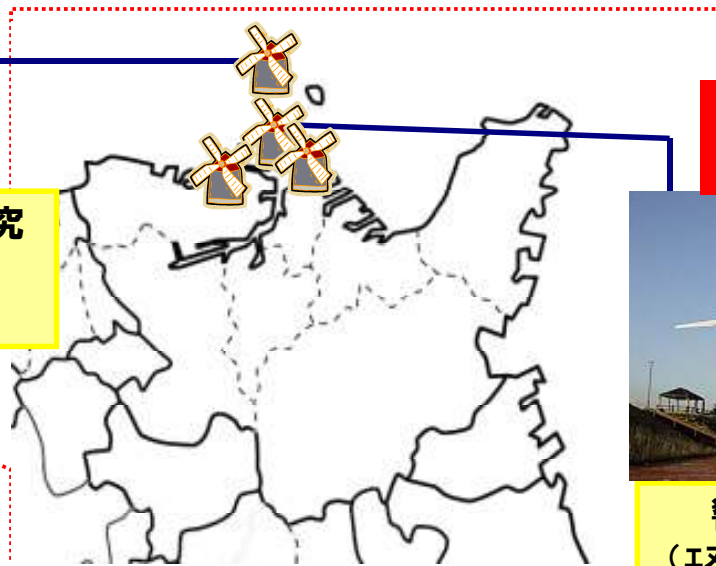
## 1-6. 風力発電の動向

- 大規模な風力発電は、北九州市響灘地区に集中
- 北九州市響灘沖合（沖合1.4 km）において、洋上風力発電（着床式）の実証研究が開始



2,000kW

洋上風力発電 実証研究  
（NEDO・電源開発）  
稼働：2013年6月



15,000kW  
（1,500kW×10）



響灘風力発電所  
（エヌエスウインドパワーひびき）  
稼働：2003年3月

## 1-7. その他の再生可能エネルギー発電設備の動向

県内各地でバイオマス発電・水力発電の導入が進んでいる

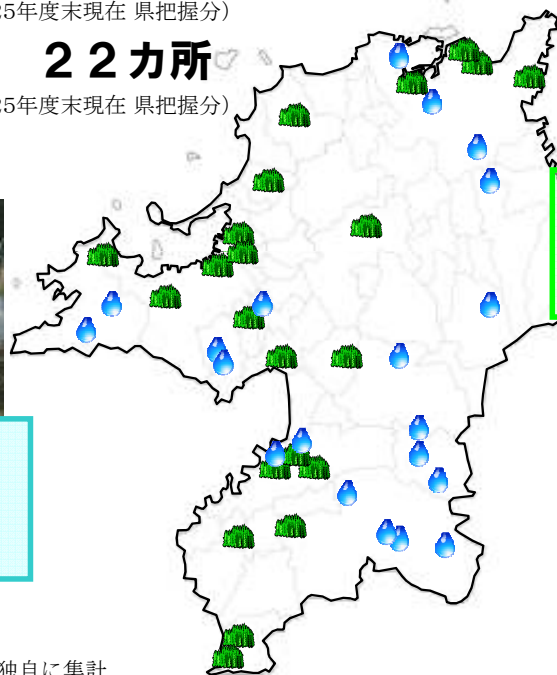
○水力発電 20カ所  
（平成25年度末現在 県把握分）

○バイオマス発電 22カ所  
（平成25年度末現在 県把握分）

1,600kW



【水力発電】  
南畑発電所  
稼働：1911年10月



29,200kW

【バイオマス】  
福岡市 クリーンパーク・東部  
稼働：2005年7月



20,600kW

【バイオマス】  
大牟田リサイクル発電所  
稼働：2002年12月



## 1-8. 県内の再生可能エネルギー発電設備による年間発電量

県内の再生可能エネルギー累積導入容量(平成26年2月末時点)から推計される年間発電量は約14.2億kWhで、約39.5万世帯分の電力消費量に相当

※九州電力における平成25年度電力販売量(県内で319.3億kWh)の4.5%弱に相当

### 福岡県内の再生可能エネルギー発電設備による年間発電量(平成26年2月末時点推計値)

再生可能エネルギー発電の種類		平成26年2月末の 累積導入量(kW)	設備利用率 (平均的な数値)	年間発電量
太陽光発電	(住宅用)	約305,000	12%	約321百万kWh
	(非住宅用)	約358,000	13%	約408百万kWh
風力発電		約20,000	20%	約35百万kWh
水力発電		約21,000	60%	約110百万kWh
地熱発電		0		0百万kWh
バイオマス発電(ごみ発電を含む) ※設備容量にバイオマス比率を乗じて算出		約105,000	59.7%	約549百万kWh
合計		約809,000		約1,423百万kWh

資料) 県における推計値(市町村アンケート等を基に独自に推計)

※端数処理の関係で合計値が合わない場合がある

※非住宅用太陽光発電の設備利用率を13%に見直し(平成26年度)

## 2. 再生可能エネルギーの導入促進に向けた県の取組み

## 多様なエネルギーの確保(再生可能エネルギー等の導入)

(平成26年度当初+平成25年度緊急経済対策: 1,799百万円)  
(平成25年度当初+平成24年度緊急経済対策: 897百万円)

### (1) 県有施設等における再生可能エネルギーの率先導入

- 県管理ダム(力丸ダム等)の放流水を活用した中小水力発電の導入
- 防災拠点や避難所となる県有施設への太陽光発電設備・蓄電池等の導入
- 園芸施設への新たな暖房システムの導入

### (2) 市町村・民間事業者等による再生可能エネルギー導入支援のための環境整備

- 再生可能エネルギー導入支援システムの運用
- 地域の特色を活かしたエネルギー地産地消モデルの構築支援  
(市町村等による再生可能エネルギー設備導入への支援)

# ① 再生可能エネルギーの 率先導入

## 2-①. 再生可能エネルギーの率先導入（県有施設）

### 県における再生可能エネルギー率先導入事例

- 県管理ダム3カ所に小水力発電（計14,050kW）を設置



大淵発電所 7,500kW  
(八女市)



木屋発電所 6,000kW  
(八女市)



ちくし発電所 550kW  
(那珂川町)

- 県有施設22カ所に太陽光発電（計562.8kW）・風力発電（計3kW）を設置  
※平成25年度には、新たに太陽光発電161.8kW（5カ所）を導入

平成26年度は、  
防災拠点や避難所となる県有施設を中心に太陽光発電200kW（16カ所）を設置する他、  
県営ダム（力丸ダム・五ヶ山ダム<建設中>）への小水力発電の導入を検討

## 2-①. 再生可能エネルギーの導入（グリーンニューディール基金事業）

### 再生可能エネルギー等導入推進基金事業（グリーンニューディール基金事業）

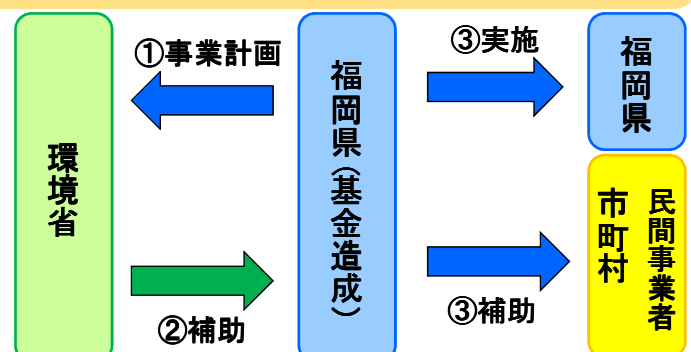
- 地震や台風等による大規模な災害に備え、避難所や防災拠点等への太陽光発電設備・蓄電池等の導入を支援し、「災害に強く低炭素な地域づくり」を推進
- 環境省補助金（19億円）を基金として積み立て、3ヶ年（平成25年度～平成27年度）で事業を実施

（平成26年度事業予定）

県有施設	14施設（太陽光発電 145kW, 蓄電池195kWh）
市町村施設	59施設（太陽光発電 562kW, 蓄電池700kWh）
民間施設	公募中

#### 【事業概要】

- 事業計画の策定、実績の調査及び評価
- 公共施設における再生可能エネルギー等導入事業（補助率：10/10, 2/3）
- 民間施設における再生可能エネルギー等導入促進事業（補助率：1/3）





## 2-①. 再生可能エネルギーの導入（グリーンニューディール基金事業）

### 赤小学校（赤村事業）【平成25年度導入事例①】

#### 〔施設概要〕

- 村指定の避難所（災害時収容人数は1,451人）
- ドクターヘリ着陸指定場所を併設
- 村内の指定避難所の中で最も高台にあり、村の中央を流れる二級河川「今川」が氾濫した場合の避難施設として、最も重要な施設である。

#### 〔導入設備の概要〕

- 太陽光発電システム 17.14kW
- リチウムイオン蓄電池 15.0kWh

#### 〔事業のポイント〕

- 体育館の照明について、既設の高所照明では消費電力が大きいため、電気スタンド等を活用して夜間必要な明るさを確保。（非常用コンセントを3ヶ所に新設）
- 保健室及び職員室の照明として、LEDダウンライトを新設。（既存の配線を活用するよりも、工事がスムーズかつ安価に実施可能であったため）



太陽光発電設備

蓄電池、パワコン



## 2-①. 再生可能エネルギーの導入（グリーンニューディール基金事業）

### 赤村住民センター（赤村事業）【平成25年度導入事例②】

#### 〔施設概要〕

- 村役場に併設する村民会館で、村指定の避難・防災拠点施設（災害時収容人数は754人）
- 防災無線の発信基地、ドクターヘリ着陸指定場所を併設
- 避難場所となる大ホールの高所照明についてもLED照明に更新済

#### 〔導入設備の概要〕

- 太陽光発電システム 11.43kW
- リチウムイオン蓄電池 15.0kWh

#### 〔事業のポイント〕

- 災害対策本部が設置される村役場の総務課にも非常用コンセントを設置し、防災拠点機能の強化を図っている
- LED化されている大ホール照明の約4分の1を災害時に点灯（特定負荷として配線工事）



太陽光発電設備

非常用コンセント



# ② 再生可能エネルギー導入支援システムによる情報発信

## 2-②. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

**全国初「再生可能エネルギー導入支援システム」**（平成24年7月24日～）  
 再生可能エネルギーの導入検討に必要なとなる日照時間や風況など適地に関する情報を  
 ワンストップで提供する全国初のシステムをインターネットで公開（<http://www.f-energy.jp>）

福岡県再生可能エネルギー導入支援システム

検索条件  
 場所を指定して検索  
 福岡県から検索  
 指定した1市町村を  
 および地図上でWクリック  
 適地情報も指定して検索  
 検索結果を絞り込む

所在地  
 市町村 福岡県  
 郵便番号  
 地域マップ  
 3D

共通事項  
 太陽光エネルギー  
 日照時間 月間 時間以上  
 工業用地・工業用地  
 メカニク 浮床型  
 大規模工場からの  
 の距離 km以下

再生可能エネルギー  
 水力エネルギー  
 バイオマスエネルギー

検索結果一覧  
 検索結果 1件 (1件)

メッシュ コート	所在地	再生可能エネルギー の種類	風況 情報	日照 情報	地形 情報	その他 情報
50303232	福岡市東区, 福岡市博多区	太陽光	風況	日照	地形	その他

検索情報  
 共通事項  
 メッシュコート 50303232  
 所在地 福岡市東区, 福岡市博多区  
 次隣距離からの距離 3km  
 二階高 2m  
 土地の傾斜角 0°  
 公有財産 260,000㎡  
 道路幅員(幅員3m) 11.5km  
 道路幅員(幅員1.3m) 8.2km  
 土地利用区分 この地の用途

自然保全地域  
 都市地帯 市街化区域  
 農業地域  
 森林地域

太陽光エネルギー  
 月1日日照時間 154.0時間  
 工業用地・工業用地  
 メカニク・浮床型  
 大規模工場からの距離 2.5km

風力エネルギー  
 陸上高度(地上50m) 5.20m/s  
 洋上高度(地上50m)

水力エネルギー  
 タム・湖沼  
 取水口

**ポイント1 詳細なデータを提供**  
 ○日照時間や風況など再エネ導入に役立つ情報を250mメッシュ単位で確認できます

**ポイント2 マップから簡単検索**  
 ○地図の拡大・縮小、スクロールも簡単  
 ○鮮明な航空写真の表示も可能

**ポイント3 希望条件から簡単検索**  
 ○希望条件を入力するだけで、簡単に適地を検索

## 2-②. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

### 導入支援システム 250mメッシュ掲載データ①

分類	データ項目	備考
共通事項	発電所の位置	メッシュ内での発電所の有無
	変電所からの距離	
	送電線網からの距離	
	土地の標高	
	土地の最大傾斜角度	
	公示地価	
	道路密度(3m)	周辺1kmメッシュ内に所在する幅員3m以上の道路延長
	道路密度(13m)	周辺1kmメッシュ内に所在する幅員13m以上の道路延長
	土地利用区分	
	自然公園地域	特別地域 等
	自然保全地域	特別地区 等
	都市地域区分	市街化調整区域 等
	農業地域	農用地区域 等
	森林地域	保安林 等

## 2-②. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

### 導入支援システム 250mメッシュ掲載データ②

分類	データ項目	備考
太陽光	月平均日照時間	
	平均1日当たり日射量	
	工業団地・工業適地の位置	メッシュ内での工業団地の有無
	メガソーラー誘致希望地データ	所有区分, 面積 等
	大規模工場からの距離	
風力	陸上風速(地上60m)に関するデータ	
	洋上風速(地上60m)に関するデータ	
中小水力	ダム・湖沼の位置	
	取水口データ	平成25年度追加
地熱	地熱井(地熱調査立坑井)の位置	平成25年度追加
	温泉・鉱泉の位置	平成25年度追加

## 2-②. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

### 導入支援システム 250mメッシュ掲載データ③

分類	データ項目	備考
バイオマス	製材所の位置, 製材所からの距離	
	チップ化工場からの距離	
	下水処理場の位置	
	稲わらの賦存量	周辺1kmメッシュ内に所在する量
	もみ殻の賦存量	周辺1kmメッシュ内に所在する量
	麦わらの賦存量	周辺1kmメッシュ内に所在する量
	牛汚泥の賦存量	周辺1kmメッシュ内に所在する量
	養鶏汚泥の賦存量	周辺1kmメッシュ内に所在する量
	動植物性残滓の賦存量	周辺1kmメッシュ内に所在する量
	スキの賦存量	平成25年度追加 周辺1kmメッシュ内に所在する量
海洋	航路の位置	平成25年度追加
	航路からの距離	平成25年度追加
	漁業権区域	平成25年度追加

## 2-②. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

### 導入支援システム その他掲載データ

分類	データ項目	備考
共通事項	発電所(火力・内燃力・水力)の緒元	名称, 所在地, 発電出力, 事業者 等
	変電所の緒元	名称, 所在地
	大規模工場の緒元	所在地, 生産品目
小水力	ダム・湖沼の緒元	名称, 所在地, 貯水量, 管理者 他
	取水口の緒元	取水地点, 水利権者, 取水量 他
	県営ダムの放流水を活用した小水力発電の事業採算性に関する検討結果	平成25年度追加 平成24年度福岡県調査結果
地熱	地熱井(地熱調査立坑井)の緒元	平成25年度追加 名称, 地温 等
	温泉・鉱泉の緒元	平成25年度追加 名称, 泉温, pH値 等
バイオマス	市町村別バイオマス賦存量データ	平成25年度追加 林地残材, 建築廃材, 食品加工廃棄物 他
	製材所の所在地	
	チップ化工場の所在地	
海洋	等深線(水深)マップ	平成25年度追加

## 2-②. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

導入支援システム（平成25年度機能追加）

### 太陽光発電による年間発電量の簡易計算機能

太陽光パネルを設置する屋根等の向きや角度、設備の容量（規模）を入力するだけで年間発電量を簡易計算

【計算式】 ※NEDO太陽光発電導入ガイドブックより引用

年間発電量(kWh) = 平均1日当たり日射量 × 365日 × システム容量(kW) × 損失係数 × 傾斜角・方位による補正

※損失係数 73%（温度上昇による損失:約15%、パワコンによる損失:約8%、配線、受光面の汚れによる損失:約7%）

設置場所(メッシュ)を選択して、設備容量・設置角度・向きを入力

傾斜角(設置角)は、以下のルールに従い、

- 傾斜角: 約30°
- 傾斜角: 約50°
- 傾斜角: 約20°
- 傾斜角: 約0°

屋根の向き(方位角)は、以下のルールで入力してください。

年間発電量(試算結果)を表示

ケース	屋根の向き 方位角(度)	設置(方位角) 設置角(度)	システム容量 (kW)	年間発電量 (kWh)
1	0度	50度	5.5kW	5,700kWh
2				
3				
4				

合計 5,700kWh  
標準的設置 5,600kWh (参考値)  
設置角の調整は、可能

## ③ 地域の特性を活かしたモデル事例の構築支援

## 2-③. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

### 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業（平成24年度～）

#### 市町村による再生可能エネルギー発電設備導入（地産地消モデル構築）への支援

#### 1. 目的

地域資源を活用して行う優れた再生可能エネルギーの導入を加速度的に促進するため、市町村が主体又は関与して行う可能性調査（FS調査）及び設備導入を支援する。

#### 2. 補助対象となる再生可能エネルギー

太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、水力発電、地熱発電、潮流発電、波力発電、海洋温度差発電

#### 3. 補助の概要

- （1）導入可能性調査 ※再生可能エネルギーの率先導入、又は市町村内への普及促進を図るための調査等
- ア 事業主体 市町村（一部事務組合を含む）
  - イ 補助金の額 500万円以内（定額）
- （2）設備導入
- ア 事業主体 市町村（一部事務組合を含む）、市町村と民間事業者等の協働
  - イ 補助金の額 1億円以内（補助率1/2以内）

## 2-③. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

### 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業 <導入可能性調査事業>

#### 平成24年度

H24 導入可能性調査事業の概要	採択市町村名
再生可能エネルギー全般の導入可能性調査	八女市、豊前市、嘉麻市、みやま市、福智町
太陽光発電の導入	小郡市、朝倉市、遠賀町、広川町
太陽光発電・小型風力発電の導入	岡垣町
小水力発電の導入	朝倉市、糸島市、みやこ町
下水汚泥消化ガスを用いたバイオマス発電の導入	宗像市
木質バイオマス発電の導入	嘉麻市

#### 平成25年度

H25 導入可能性調査事業の概要	採択市町村名
再生可能エネルギー全般の導入可能性調査	久留米市、筑前町、飯塚市
小水力発電の導入	糸島市、うきは市
太陽光発電・蓄電池等の導入	糸田町、香春町
生ごみ・汚泥系メタンガスを用いたバイオマス発電の導入	みやま市
下水汚泥消化ガスを用いたバイオマス発電の導入	芦屋町
木質バイオマス発電の導入	八女市

## 2-③. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

### 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業 <設備導入補助事業>

平成24年度

H24 設備導入補助事業の概要	採択市町村名
公共施設（避難所等）への太陽光発電設備の導入	福岡市、久留米市(2件)
乙金浄水場（上水道）への小水力発電設備の導入（H24～H25）	福岡市

平成25年度

H25 設備導入補助事業の概要	採択市町村名
白糸の滝における小水力発電設備導入事業	糸島市
まいピア高田における太陽光発電設備導入事業 ※電気自動車用充電スタンド（V2H）も併設	みやま市
三連水車の里あさくら太陽光発電設備導入事業 ※電気自動車用充電スタンドを併設	朝倉市
大野城市庁舎における太陽光発電設備導入事業 ※防災目的、蓄電池（25kWh）を併設	大野城市
南コミュニティセンターにおける太陽光発電設備導入事業 ※防災目的、UPSを併設	大野城市
瑞梅寺ダムにおける小水力発電導入事業（H25～H26）	糸島市
南部浄化センター（下水道）における小水力等発電事業	久留米市

## 2-③. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

### 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業の事業例①

#### <白糸の滝における小水力発電設備導入事業(糸島市)>

- 観光名所である「白糸の滝」に、小水力発電(計15kW)を設置。  
発電した電気は、隣接する観光施設「白糸の滝 ふれあいの里」で利用。  
※ 年間発電量は97,500kWh程度を想定
- 観光名所に設置することで、市民や観光客に対し再生可能エネルギー導入促進に向けた啓発効果も見込まれる。



白糸の滝



取水口(白糸の滝 直下において取水)



小水力発電設備  
(取水口下流約150m地点、有効落差約30m)

クロスフロー水車(5kW)

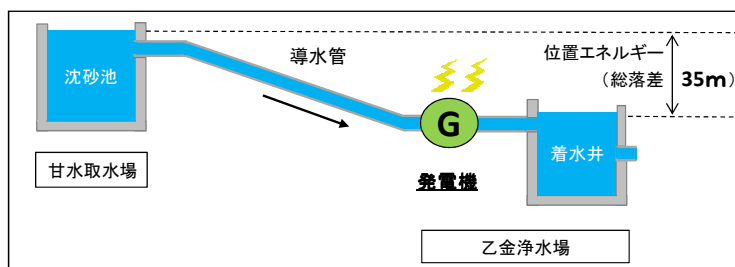
ベルトン水車(10kW)

## 2-③. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

### 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業の事業例②

#### <乙金浄水場(上水道)への小水力発電設備の導入(福岡市)>

- 総延長24km、総落差35mの原水導水管を利用した小水力発電(96kW)を設置。発電した電気は自家消費。  
※ 年間発電量は633,000kWh程度を想定
- 市内外の小学生や一般の方々を対象とした施設見学の際にも、本設備を紹介することとしており、再生可能エネルギーに関する環境教育の場として啓発効果も見込まれる。



## 2-③. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

### 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業の事業例③

#### <南部浄化センター(下水道)における小水力発電設備導入事業(久留米市)>

- 下水処理水(放流水)を利用した小水力発電(5.3kW)及び太陽光発電(3.8kW)を設置。発電した電気は自家消費。  
※ 年間発電量は42,710kWh程度を想定
- 当センターでは、平成25年度に消化ガスを利用した発電設備(190kW)\*を別途導入しており、今回導入設備とあわせ、見学者に対する啓発に活用予定。  
※ 消化ガスを利用した発電で、再生可能エネルギー固定価格買取制度による売電事業を行うのは、西日本で初めて(全国4番目)

太陽光発電(3.8kW)



小水力発電(5.3kW)



小水力発電 設置場所 (塩素混和池)



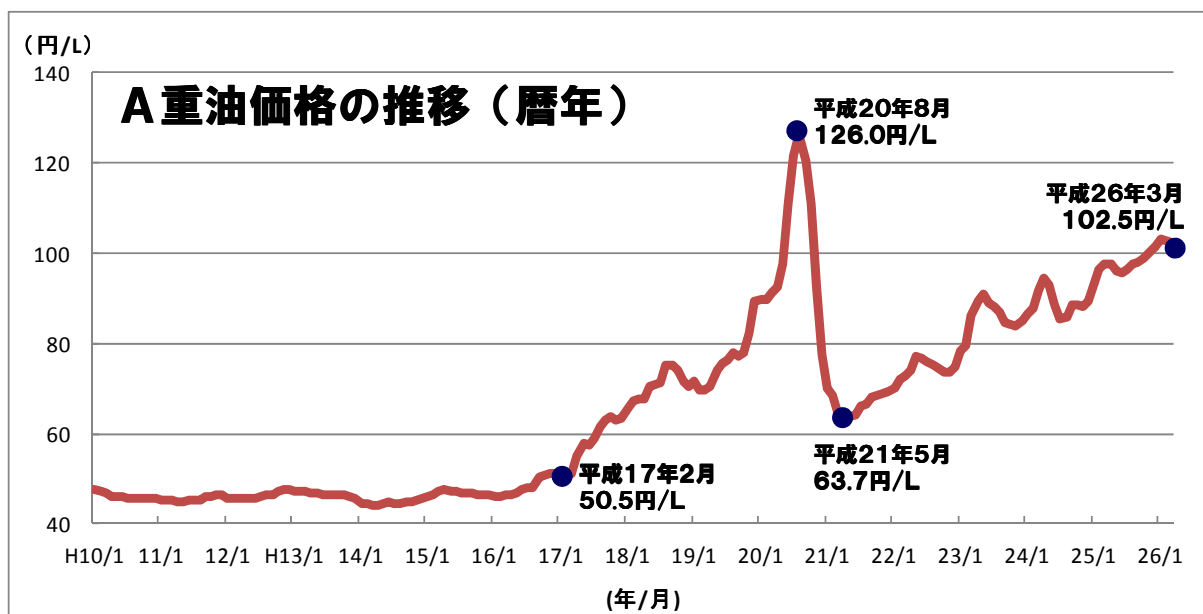
スクリーユ水車



## ④ 農業と連携した再生可能エネルギーの導入促進

### 2-④. 再生可能エネルギーの導入（園芸施設 ハイブリッド暖房）

本県農業の主力である施設園芸において、重油価格の高止まりが、農家経営を圧迫



※農林水産省農業物価統計調査（農業物価指数）から作成

## 2-④. 再生可能エネルギーの導入（園芸施設 ハイブリッド暖房）

### 園芸施設ハイブリッド暖房システムの導入 ～地域内の間伐材を活用した新たな暖房システムの導入～

#### 【事業目的】

- 地域内の間伐材を活用し、木質チップボイラーによるセントラル方式の新たな暖房システムを導入し、**重油削減による園芸農家の経営安定と間伐材の利用を促進**

#### 【事業内容】

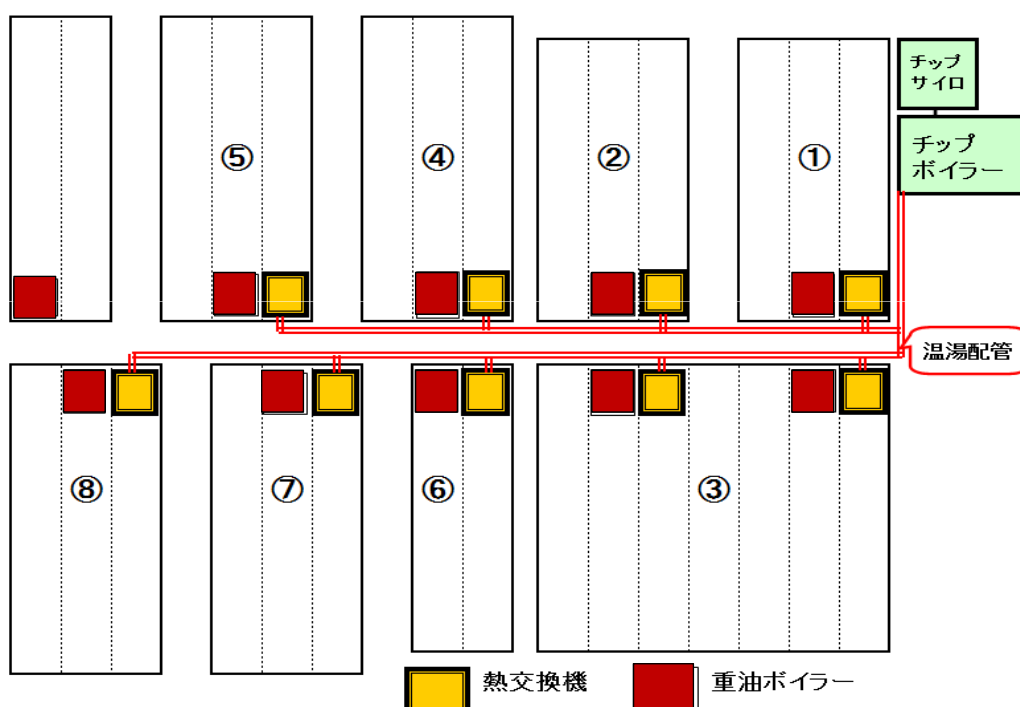
- 重油使用が比較的多い電照ギク栽培において、**恒常的な加温に木質チップボイラー**を活用し、**急激に温度低下した場合には、自動的に重油ボイラーを併用**
- 木質チップを安定的に低価格で供給するため、ボイラーをセントラル方式としチップ運賃を抑えるとともに、林地残材を収集する方法や丸太の効率的な乾燥方法を実証

#### 【事業期間】

平成25年度～平成27年度

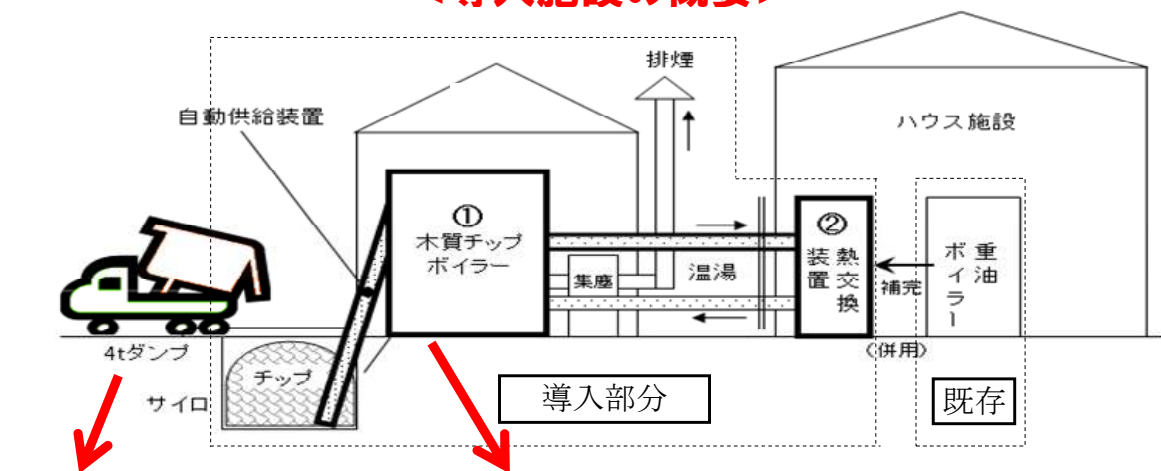
## 2-④. 再生可能エネルギーの導入（園芸施設 ハイブリッド暖房）

### <実証場所：八女市のハウス団地(1ha)>



## 2-④. 再生可能エネルギーの導入（園芸施設 ハイブリッド暖房）

### <導入施設の概要>



チップサイロにチップを搬入



チップボイラー

暖房システム導入費 45,150千円  
（うち国庫補助※ 20,567千円）

※平成25年度再生可能エネルギー  
熱利用加速化支援対策事業  
（経済産業省補助）を活用

## 地域における新たなエネルギー需給体制の構築

（平成26年度当初＋平成25年度緊急経済対策：1,248百万円）  
（平成25年度当初＋平成24年度緊急経済対策：197百万円）

- 地域エネルギー政策研究事業
- エネルギー対策特別融資事業（再エネ・省エネ設備等）

## エネルギー産業の支援・育成

（平成26年度当初＋平成25年度緊急経済対策：198百万円）  
（平成25年度当初＋平成24年度緊急経済対策：207百万円）

- 再生可能エネルギー先端技術展の開催
- 水素エネルギー戦略事業

# ⑤ エネルギー対策特別融資制度による省エネ・再エネ設備の導入支援

## 2-⑤. 再生可能エネルギーの導入（融資制度）

中小企業者による省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入を支援するため、エネルギー対策特別融資制度を創設。（平成26年6月2日運用開始）

～県独自の融資制度の中で、融資限度額が最も高く、金利は最も低い融資制度～

### 1. 融資の対象者

県内の事業所に設備を導入する中小企業者（個人、法人、組合）

### 2. 融資の内容

(1) 融資限度額	再生可能エネルギー設備	2億円
	その他設備	1億円
(2) 貸付期間	再生可能エネルギー設備	15年以内（据置2年以内）
	その他設備	10年以内（据置2年以内）
(3) 融資利率	10年以内	年1.2%
	10年超	年1.4%
(4) 保証料率	0.25%～1.62%	

## 2-⑤. 再生可能エネルギーの導入（融資制度）

### (5) 融資対象設備

#### ① 省エネルギー設備（エネルギー効率の高い先端製造設備を含む）



放熱を抑制するなどエネルギー効率の高い射出成形機(プラスチック部品)



エネルギー利用効率の高いボイラー



リン酸形燃料電池

#### ② 再生可能エネルギー設備（売電目的の発電設備を含む）



太陽光発電設備



風力発電設備

#### ③ コージェネ,高効率照明,エネルギーマネジメントシステム,蓄電池

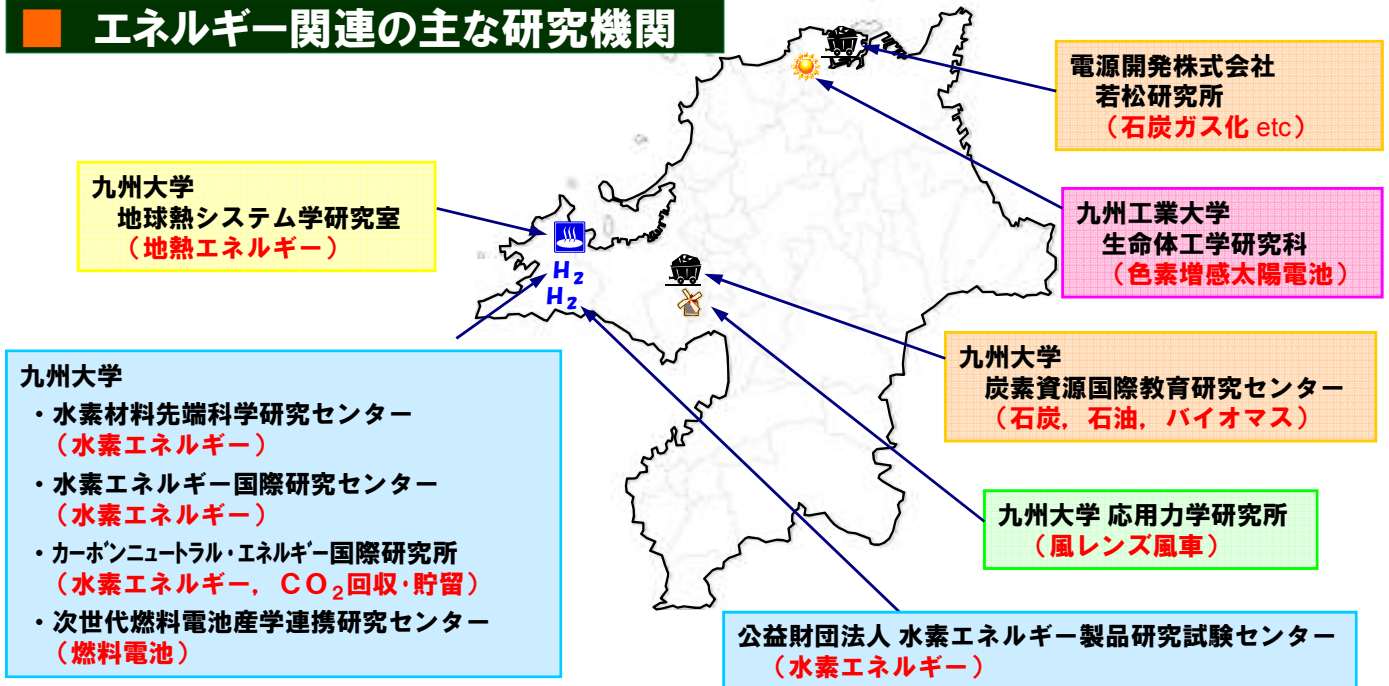
#### ④ その他上記設備等と同等以上の機能を有すると知事が認めるもの

## ⑥ 再生可能エネルギー産業の 支援・育成

## 2-⑥. エネルギー産業の支援・育成（県内の研究機関）

- 県内には、エネルギー関連の研究機関等が多数集積
- これらの研究機関と連携して、エネルギー新産業の支援・育成を目指す

### エネルギー関連の主な研究機関



## 2-⑥. エネルギー産業の支援・育成（先端技術展）

再生可能エネルギー先端技術展2014の開催 ※「エコテクノ2014」ほか、2イベントと同時開催

- 再生可能エネルギー等に関連する先進的製品・技術を一堂に紹介
- 産学官における技術・人材・情報の交流を活発化
- 技術革新およびビジネスチャンスの拡大に寄与

入場無料



会期	平成26年10月8日(水)～10月10日(金)
会場	西日本総合展示場 本館 (福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)
主催	福岡県, 北九州市, 経済産業省九州経済産業局, (公財)西日本産業貿易コンベンション協会
出展者目標	120社・団体
入場者目標	30,000名
HP	<a href="http://www.he-t.jp/">http://www.he-t.jp/</a>



### 平成25年度の開催状況

- 会 期：平成25年10月16日～18日
- 会 場：西日本総合展示場 本館
- 出展者数：83社・団体 (平成24年度：75社・団体)
- 入場者数：20,051名 (平成24年度：12,404名)

## 2-⑥. エネルギー産業の支援・育成（県庁内ミニ展示会）

「身近な再エネ・省エネが分かる！県庁内ミニ展示会」の開催

- エネルギーへの関心を深め、再生可能エネルギー・省エネルギー設備の普及を促進するため、県庁1階ロビーを活用したミニ展示会を開催

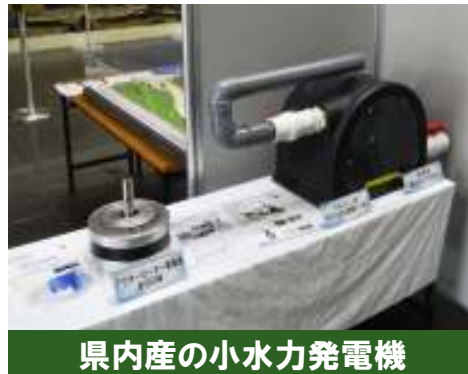
会 期：平成26年5月7日～16日

会 場：福岡県庁1階ロビー

展示物：太陽光パネル、小形風力発電機、小水力発電機、エネファーム など



全景



県内産の小水力発電機



県内産の太陽光パネル

## 3. まとめ

福岡県では、  
県内各地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入と  
効率的なエネルギー利用を進め、  
環境にやさしく持続的発展が可能な社会を目指します。

皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。

### <問い合わせ先>

福岡県 企画・地域振興部 総合政策課 エネルギー政策室

TEL 092-643-3148 FAX 092-643-3160

E-mail [energy@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:energy@pref.fukuoka.lg.jp)

URL <http://www.f-energy.jp/>（ふくおかのエネルギー）

